

12/24 熱い野球への思いを応援！



(左から) 日野町長、東小パイレーツ 高平大空^{たく}さん、井上蒼太^{たく}さん、時松^{なると}祐翔^とさん、ロータリークラブ 会長 中野通孝^とさん、野上ヤングスターズ 小野矢尋^とさん、加藤蒼士^とさん

大分ロータリークラブより町内の少年野球チームの東小パイレーツと野上ヤングスターズに200,000円の寄附が贈呈されました。

7月豪雨で被災した子どもたちを応援するために贈られた寄附金は、野球用品や練習場の整備に役立てられます。

1/15 七輪を使って貴重な体験を



焼き上げた干物を子どもたちは味を食べ比べながら完食。体験後、学校に「干物応援隊認定証」の盾が渡されました

野矢小学校で「干物七輪焼き体験学習」が行われました。この体験学習は、海辺の活動にふれ合う体験を楽しむために、佐伯市役所と大分県水産加工業振興協議会により開催されました。干物についての説明を聞いた後、児童たちはカマスやアジの開きなど、数種類の干物を自ら七輪で焼きおいしそうに食べていました。

1/23 豊作と無病息災を願って



雨が降ったため、「もぐら打ち」は14日、小豆飯は15日の歌とともに室内でもぐら打ちの練習をしました

飯田お宝探検隊が飯田公民館で、もぐら打ちの“わらぼて”作りを行いました。新春の伝統行事である「もぐら打ち」は、農作物の敵であるもぐらを追い払い、豊作や無病息災を願う行事です。この日は小学生8名が参加し、講師の時松^{たかし}崇^とさんに教わりながら、藁を編む等してわらぼてを完成させました。

1/27 台湾から旧正月祝う対聯届く^{ついでん}



台湾の生徒たちが書いた縁起のよい言葉と干支の丑が描かれた対聯は、緑陽中学校に飾られています

緑陽中学校と姉妹校提携を行っている、台湾の大灣国民中学と鳳山国民中学より“対聯”が届きました。コロナ禍で交流ができない中、緑陽中の生徒たちがクリスマスカードを贈ったことへのお返しで、手紙には「早くこの感染症が落ち着き、会えることを楽しみにしています」とのメッセージが書かれていました。